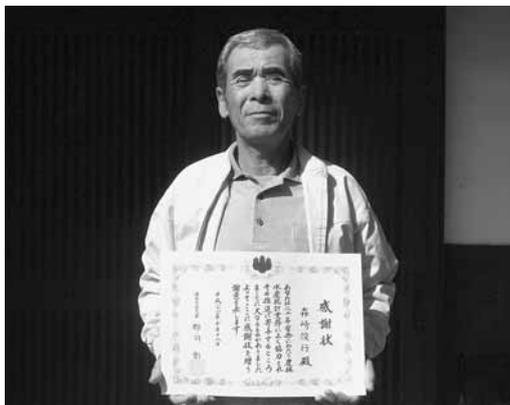


農業経営統計調査に20年間協力

農林水産省から中尾の森崎俊行さんへ感謝状

統計の日(毎年10月18日)を記念して、農林水産省が実施する農林水産統計調査に永年にわたって協力いただいた人に対し、その功績をたたえ、農林水産大臣から感謝状が贈られました。

「統計の日」とは、今から約140年前の明治3年9月24日、政府が日本における近代産業統計の源である「府県物産表」を作成した日を今の暦にな



感謝状を受け取った森崎俊行さん

おすと、10月18日にあたり、昭和48年7月の閣議了解で「統計の日」としたものです。

本年度は、本町から森崎俊行さん(中尾)が農業経営統計調査に20年にわたり協力されたことで受賞されました。

農業経営統計調査は、農家の1年間の経営収支などを明らかにする調査で、結果は農林水産行政に広く活用されます。

空港周辺環境対策事業で公園や公民館などの備品を整備

(財)空港環境整備協会から空港周辺環境対策事業として、助成がありました。

これは空港周辺住民の生活環境を改善し、空港運営と航空交通の健全な発展を目的として実施されています。

本年度は、時計台(辻の城公園)、こどもステーションハウス(あじさい幼稚園)、折り畳み椅子や冷蔵庫などの自治活動に必要な備品(市ノ後・辻団地・辻の城団地の各公民館)に対し、助成がありました。



辻の城公園の時計台(助成の一部)

矢嶋楯子生誕180周年記念連載

矢嶋家四女

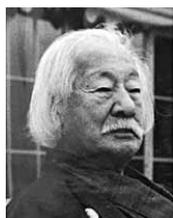
とく とみ ひさ こ
徳富 久子

文政12(1829)年

矢嶋家四女として益城町宮園に生まれる。横井小楠の高弟で明治3(1870)年の肥後藩政改革の中心人物、徳富一敬(淇水)に嫁ぐ。近代日本の言論人徳富蘇峰、小説家徳富蘆花兄弟の母として厳格な家庭教育を実践。蘇峰は「私が一人前になり、強い信念が持てたのも、母の厳しさのおかげであった」と感謝している。女子教育のための学校設立案を提唱し、姉順子の女子教育、妹楯子の日本基督教婦人矯風会活動を積極的に支えた。大正8(1919)年91歳没。



徳富 久子



徳富 蘇峰

明治・大正・昭和にかけて活躍した言論人・ジャーナリスト・評論家・歴史家。文久3(1863)年、母久子の実家(現益城町杉堂)に生まれる。明治19(1886)年、上京し「民友社」を創設する。明治30

(1897)年松方正義内閣の内務省勅任参事官に就任。昭和17(1942)年、日本文学報国会・大日本言論報国会会長、昭和18(1943)年、文化勲章受章。昭和27(1952)年『近世日本国民史』全100巻を完成させた。

矢嶋楯子生誕180周年記念式典まで

あと4か月

平成25年5月11日(土)・12日(日)

新年明けましておめでとうございます。今年はいよいよ矢嶋楯子生誕180周年目です。

実行委員会とワーキンググループでは、間近に迫った記念式典に向けて、さらに気合を入れて準備を進めています。

益城町の偉人、熊本県の偉人、日本の偉人としての功績を顕彰し、広く後世に継承していくよう努めていきます。

矢嶋楯子生誕180周年記念事業実行委員会

問い合わせ先 町教育委員会生涯学習課
☎ 286-3111 内線 322